

「令和6年度『育ちと学びをつなぐ』 幼保小連携・接続の充実事業報告 呉市」



呉市教育委員会 学校教育課



報告内容

- 1 幼保小連携・接続の視点を踏まえた
園・所等の保育の好事例
- 2 幼保小連携・接続の視点を踏まえた
小学校等の授業の好事例



呉市立中新開保育所

～学びや生活の基盤をつくる幼児教育～



教育目標

なかまと共に**生き生きと遊び**, **思いやり**の
ある子の育成

①幼児教育から小学校教育への
つながりを考えたカリキュラム
の改善



②小学校との協議・参観の実施
(実際の子どもの様子を見る)



小学校との協議・授業参観を通して

○子ども同士のかかわり

○視覚支援の充実

○活動後の「ふりかえり」

幼保小連携・接続の視点を踏まえた園・所等の保育の好事例

カーリングあそび



信号ゲーム



報告内容

1 幼保小連携・接続の視点を踏まえた
園・所等の保育の好事例

2 幼保小連携・接続の視点を踏まえた
小学校等の授業の好事例



郷原小学校のスタートカリキュラム ～関わり，つながる教育活動を通して～



幼保小連携・接続の視点を踏まえた小学校等の授業の好事例



保小中連携会議

幼保小連携・接続の視点を踏まえた小学校等の授業の好事例

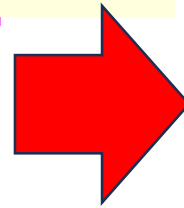
生活科を中心とした合科的・関連的な指導



こども園で育てている野菜



保育所で育てているアサガオ

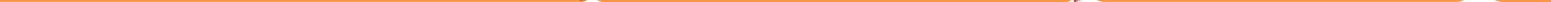


小学校生活科「はなをさかせよう」

生活科を中心とした合科的・関連的な指導

立郷原小学校

夢と志をもつ，自律した児童の育成



入学者・学校に安心感をもつ・先生や友達と仲良くなる 入学式翌日から1週間程度、保護者による「安心ボイーター」制度を実施する。(朝7:40~8:40) 保育所や園で使用していたような遊具や本、座り込んで活動できる自由なスペースを設ける。 登校後の自由遊びの時間の保障。(全校朝会等への加は3週間程度行わない。) 机のない広い学習スペースでの授業を中心に行う。20分程度の時間間隔で授業を構成したり、活動を取り入れたりする。 異学年交流活動を増やす。(6年=ペアと給食当番・給食指導、掃除当番、体育・遊び交流等、2年学校探検・朝顔の種プレゼント) 多くの先生方にGTになってもいい関わりをもつ。 前年度末連携職員から新担任1年生当初の連携、指導要録の確認、幼児期の学びと育ちの様子や指導様子を把握し情報共有を行う。特に入学式に関する連携を念入りに行う。 入学後初めての参観日に、保育所等の保育士等に親してもらい、その後電話等で連携を図る。	自分で行えることは自分でしようとする・集団のルールを考える 生活科を核に総合的・関連的な指導を多く取り入れる。 全校児童との関わりをもつ。事前に全校児童に1年生への対応の仕方について指導する。 自由なスペースはそのままだ。 学級での朝の会を始める。 音楽・生活・体育など、週に6時間程度は合同授業を行う。 2年生との交流・授業(運動会の練習など)。 床に座っての学習、椅子だけの学習、班机やペア机での学習等を取り入れる。 成長の見える連続した掲示物を作成し掲示する。 4月末~5月初旬に、再び保育所・園の元担任等と連携し、児童理解を深め、カリキュラムの見直しを図る。 年長児の運動会への参加を依頼する。 保小中連携協議会(連絡会)を開催する。 アサガオの栽培・観察の経験について園・所に確認する。(電話)	関わりを広げる・自己発揮・主体性の発揮・自分の成長の自覚 朝の読み聞かせを、集中して聞いたり、感想を伝えたりする活動を続ける。 1年生だけで給食の当番活動を行い、責任感や自己有用感を感じる機会を増やす。(給食当番、学級会、朝・帰りの会の運営) 班机やペア机で関わりが自然に増えるようにする。	夏季休業中 全教職員による保育所園への1日参観や合同研修会等で、幼児についての理解を深める。 学習の足跡が残る、1年間を振り返ることができる掲示物を作成する。 スタートカリキュラム及びその編成について職員研修を行う。 保小中職員・地域住民民生委員等の連携総会を開催する。 里帰りの様子の確認を行う。(保小中連絡会) 連絡帳での連携を開始する。(児童が連絡帳を書くようになるため)	二期始め 再びスタートカリキュラムのような指導を行い、生活リズムの回復と学びの姿勢の立て直しを図り、学校生活に円滑に戻れるように配慮する。 6年生に修学旅行へのお守りを渡す。 6年生と縄跳び交流を行う。 6年生と「秋のおもちゃやさん」で交流する。 年長児の学習発表会への出演を依頼する。 年長児と一緒に秋見つけに行く。(グリニヒル郷原で待ち合わせる。) 年長児と秋のおもちゃで交流する。 年長児の持久走記録会への参加を依頼する。	年度末 スタートカリキュラム及びその編成について職員研修を行い、教職員でその意義や考え方を、理解にしたいことなどを共通理解する。 2月の新1年生保護者説明会 次年度の新1年生保護者によるスタートカリキュラムを実施する。 その意義やねらいを伝える。 持ち物、入学式後の作業に給食着の販売について説明する。 3月末に年長児が通園して園・所等との連携を行う。(1.3年担任・養護教諭) (保育要録の授受、スタートカリキュラム・アプローチャリキュラムの目録・学校関係者評価委員会の打ち合わせ) 参観日や学級通信、学年の成長の作品集等で1年間の成長を伝える。
--	---	---	--	---	---

①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量図形・標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

幼保小連携・接続の視点を踏まえた小学校等の授業の好事例

生活科を中心とした合科的・関連的な指導

すきなもののいっぱい
(図画工作科)



たのしいがっこう
(学級活動)



2年生から
郷原小学校のことを教わる
(生活科)



がっこうでみつけたことを
つたえよう(生活科)



なんていうのかな
(国語科)

成果

- 地域の実態に応じて幼保小連携・接続の様々な取組が広がっている。
- 接続カリキュラムを基にした協議が充実し、カリキュラムの改善が図られている。

課題

- 子どもが主体的に学ぶ保育・授業の質の向上（カリキュラムの実践→評価→改善）
- 幼保小連携・接続の考え方を他学年等に広げ、組織的な取組にする。